

柳沢 ヤギフェス vol.11!
~柳沢みんなの文化祭~
準備会を開きます

子どもからシニアまで、幅広い世代が楽しむ「柳沢の文化祭」、ヤギフェス。一緒につくりませんか?

時 5月13日(金)19時~21時

場 柳沢公民館

対 柳沢公民館で活動している団体、市内で活動している団体・個人

申 5月12日(木)

17時までに電話かメールで柳沢公民館へ

ヤギフェスマスコットキャラクター やぎっち



サークルから 催し物案内

雅水会色鉛筆画作品展 雅水会
5月26日(木)~29日(日)/10時半~16時半/柳沢公民館/

公開読書会「未来の年表」「茨木のり子詩集」 大人の読書会
5月27日(金)/13時半~16時/柳沢公民館/発表者:梅沢恒夫・小林力(会員)/定員40人(先着順)/資料代100円/

サークルから 会員募集

彩友会(水彩画)
月3回月曜日/13時~16時半/柳沢公民館/入会金500円・月額2,500円/
還暦軟式野球東京ダフネ(60歳以上)
毎週水曜日/12時~15時/向台運動場/年額10,000円/

※金額の記載がないものは無料です。

7月1日号の原稿締め切りは、5月20日(金)です。

7月号のお題 「星」です

締切 5月25日(水)

第14回 田無公民館まつり
~笑顔でつなげる希望の輪~

5月29日(日)

10:00~16:20

【主催】田無公民館まつり実行委員会
田無公民館
【協力】田無公民館利用者連絡会

田無公民館まつりは、新型コロナの影響による中止等3年ぶりの開催となります。感染症対策を講じて開催のため、入場制限・客席入替等皆様にご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

オープニングセレモニー

1階<ロビー>
10:00~
◆和太鼓演奏
【田無申弥鼓】
<定員20人>

ワークショップ

2階<活動室1>
13:00~/14:00~ (各回1時間程度)
◆父の日 メッセージカード作り・しおり作り
【田無公民館まつり実行委員会】
<定員各回10人>

国際理解コーナー

2階<活動室2> 12:00~14:00
◆台湾・スリランカのお話を聞こう!
【国際交流協会】<定員15人>

和太鼓体験 (中学生以上対象)

地下<実習室> 11:00~12:00
◆和太鼓演奏体験
【田無申弥鼓】
<定員20人>

体験コーナー

1階<ロビー>
12:00~13:00
◆つり堀り【あめんぼ青年教室】
<入れ替え制・定員1回5人>

展示

1階<ロビー>
◆田無話し方の会
◆わいわいネット
◆つながるプロジェクト
◆あめんぼ青年教室

当日、午前10時からチケットを配布します。定員に達し次第終了します。

子ども向けプログラム

2階<和室>
※付き添いの大人は1人まで
◆人形劇【くまねずら】
①10:30~11:00(乳幼児)
②12:00~12:30(幼児・小学生)
◆影絵【ゆきまど/くまねずら】
③13:00~13:30(幼児・小学生)
<定員各回15人程度>

発表

3階<視聴覚室>
11:05~16:20 ※各回入れ替え制
・たんぼぼ(演劇)
・西東京けやきの会(民謡)
・西東京マジッククラブ(マジック)
・中国胡弓楽坊(二胡)
・田無話し方の会
・MOKIHANA(フラダンス)
・ピアノひけるよ会(ポピュラーピアノと歌)
・中国二胡縁楽団(二胡)
・ウクレレ・フェロー・バンド(ウクレレとギターと歌)
・あめんぼ青年教室
・フィナーレ・交流演奏
<定員20~32人>
※出演者人数により変わります。

★新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や一部プログラムが変更になる場合もあります。あらかじめ、ご了承ください。
★詳しくは公民館で配布しているリーフレットをご覧ください。

公民館運営審議会

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。
時 5月18日(水) 18時半~
場 柳沢公民館
内 事業計画・報告について ほか
申 電話で柳沢公民館へ

公民館市民企画事業 第2期申請受け付けが始まります

3月開催の令和4年度第1回説明会に参加した自主グループは、第2期の申請ができます。
【申請期間】
5月6日(金)~13日(金)
※ただし、平日の9時~17時に限ります。

【調整会】
時 5月24日(火)19時~
場 柳沢公民館
【実施期間】
8月1日(月)~9月30日(金)

講座の受講生が記録誌を池澤市長にお届けしました

昨年度の保谷駅前公民館主催講座「子どもの権利を考える」の参加者が、講座の記録誌を池澤隆史市長にお届けしました。
この講座は、中学生から25歳までを対象として、子どもの目線で「子どもの権利」について考えることを目的に行いました。参加者は、中学生1人、高校生4人、大学生8人の合計13人で、学校も様々、子ども目線で多様

な見方が出来るメンバー構成となりました。そして講座終了後、西東京市の地図に「子どもの居場所」を落とし込んだものをもとにどこにどんな施設がほしいかを考え合いました。
子どもの居場所の目的は様々で、「お腹が空いていたらいつでも来られる子ども食堂」「予約なしで出入り自由、何をしても自由な場所」「いじめや虐待から避難できる場所」「親が来ない場所」「学生が管理運営できる場所」など、多岐に渡るイメージが出されました。
話し合った内容を記録誌にまとめたところで「ぜひ市長に見てもらいたい」ということになり、3月13日(日)、受講者代表6人が池澤市長を訪問しました。当日は、講座の講師を務めた、西東京市代表子どもの権利



擁護委員の野村武司さんも同席し、「講座を受講して終わりではなく、こうして議論が深まり地域に広がっていくことが本当に大切なこと」と話されました。池澤市長は「若い方々の意見を大切に、まちづくりをすすめていきます」と応えました。参加した学生たちは「市長さんが優しい方でよかった」「緊張したけど楽しかった」と感想を述べていました。

